

銀行名	北海道銀行												
タイトル	「ほっかいどう地方創生ファンド」を活用した地方創生の取組み												
取組み内容	【背景・経緯】 当行は、「食・農」、「観光」、「環境」など北海道に優位性がある地域資源を活用して成長を目指すベンチャーや中小企業等への投資を通じ地方創生・活性化に寄与することを目的とし、地域に密着し企業を支援している北海道内の18信用金庫・3信用組合と共同で、平成27年9月に道内金融共同出資ファンド「ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合」を設立した。 【ファンドスキーム図】 【投資事業組合の概要】 <table><tr><td>ファンド名</td><td>ほっかいどう地方創生ファンド (ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合)</td></tr><tr><td>出資総額</td><td>810百万円</td></tr><tr><td>設立日</td><td>平成27年9月1日</td></tr><tr><td>存続期間</td><td>10年4ヶ月(2年間延長可能)</td></tr><tr><td>出資者</td><td><有限責任組合員> 北海道銀行、札幌信用金庫、空知信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫、日高信用金庫、函館信用金庫、渡島信用金庫、江差信用金庫、北海信用金庫、旭川信用金庫、留萌信用金庫、北星信用金庫、帯広信用金庫、釧路信用金庫、大地みらい信用金庫、北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、 北央信用組合、札幌中央信用組合、十勝信用組合 (金融機関コード順) <無限責任組合員> 北海道ベンチャーキャピタル株式会社</td></tr><tr><td>投資事業の対象</td><td>地域:原則、道内に本社、又は主要な拠点を持つ企業。 業種:成長分野、又は今後成長が期待される分野。 規模:中小～中堅企業。</td></tr></table>	ファンド名	ほっかいどう地方創生ファンド (ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合)	出資総額	810百万円	設立日	平成27年9月1日	存続期間	10年4ヶ月(2年間延長可能)	出資者	<有限責任組合員> 北海道銀行、札幌信用金庫、空知信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫、日高信用金庫、函館信用金庫、渡島信用金庫、江差信用金庫、北海信用金庫、旭川信用金庫、留萌信用金庫、北星信用金庫、帯広信用金庫、釧路信用金庫、大地みらい信用金庫、北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、 北央信用組合、札幌中央信用組合、十勝信用組合 (金融機関コード順) <無限責任組合員> 北海道ベンチャーキャピタル株式会社	投資事業の対象	地域:原則、道内に本社、又は主要な拠点を持つ企業。 業種:成長分野、又は今後成長が期待される分野。 規模:中小～中堅企業。
ファンド名	ほっかいどう地方創生ファンド (ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合)												
出資総額	810百万円												
設立日	平成27年9月1日												
存続期間	10年4ヶ月(2年間延長可能)												
出資者	<有限責任組合員> 北海道銀行、札幌信用金庫、空知信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫、日高信用金庫、函館信用金庫、渡島信用金庫、江差信用金庫、北海信用金庫、旭川信用金庫、留萌信用金庫、北星信用金庫、帯広信用金庫、釧路信用金庫、大地みらい信用金庫、北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫、 北央信用組合、札幌中央信用組合、十勝信用組合 (金融機関コード順) <無限責任組合員> 北海道ベンチャーキャピタル株式会社												
投資事業の対象	地域:原則、道内に本社、又は主要な拠点を持つ企業。 業種:成長分野、又は今後成長が期待される分野。 規模:中小～中堅企業。												

同年 9 月 30 日には、第 1 号出資案件として、北海道大学発の創薬バイオベンチャー、医化学創薬株式会社に 5,000 万円を出資した。

【取組みの概要】

(1) 目的

当社の成長支援を通じ、道内バイオ産業の活性化を図ること。

(2) 意義

当社は、これまで複雑で解析・合成が難しいとされてきた「糖鎖」を、高精度かつ高効率で解析・合成できる独自の技術を有している。「糖鎖」は、核酸 (DNA)、タンパク質に続く第三の生命線と呼ばれており、次世代医療の重要テーマとして世界的に研究が進められているテーマである。

本件出資により「糖鎖」を活用した創薬実用化への取組みを加速させることで、当社の売上及び地域雇用の増加、関連産業も含めた波及効果が期待される。

(3) その後

「ほっかいどう地方創生ファンド」による本出資後、当社は以下の通り公的研究機関、業務提携先、ベンチャーキャピタルから相次いで出資を受けている。

平成 27 年 12 月：国立研究開発法人科学技術振興機構（略称：JST）が出資

株式会社トランスジェニック（東証マザーズ上場）が出資

平成 28 年 3 月：株式会社免疫生物研究所（東証 JASDAQ 上場）が出資

株式会社トランスジェニック（東証マザーズ上場）が出資

平成 28 年 5 月：三菱UFJキャピタル株式会社が出資

「ほっかいどう地方創生ファンド」については、平成 28 年 3 月に第 2 号投資案件の出資を実施。引き続き道内地域金融機関と連携し本ファンドを活用した地域活性化に向けて取り組んでいく。

以上

HOKKAIDO BANK

News Release

平成 27 年 8 月 28 日

各 位

株式会社 北海道銀行

「ほっかいどう地方創生ファンド」の設立について

～ベンチャー・中小企業等の成長をサポートする道内金融共同出資ファンド～

北海道銀行(頭取 笹原 晶博)では、道内の 14 信用金庫・3 信用組合および北海道ベンチャーキャピタル株式会社と共同で、平成 27 年 9 月 1 日に「ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合(ほっかいどう地方創生ファンド)」を設立いたします。設立時点でのファンド総額は 7 億 5 千万円となります。なお、9 月に加入を予定している金融機関もあり、組合員数およびファンド総額は更に増加する見込みです。

今回のファンド設立は、北海道の地域資源を活用して成長を狙うベンチャーや中小企業等への投資を通じて、地方創生・活性化に寄与することを目的としております。「食・農」、「観光」、「環境」など、北海道が優位性を持つ経営資源を活用し成長を目指す企業に対し、地域に密着して企業を支援している道内信用金庫・信用組合と弊行、北海道ベンチャーキャピタル株式会社が密接に連携し支援を行ってまいります。

投資事業組合の概要およびスキーム図については、別紙をご参照願います。

以 上

【本件のお問い合わせ先】

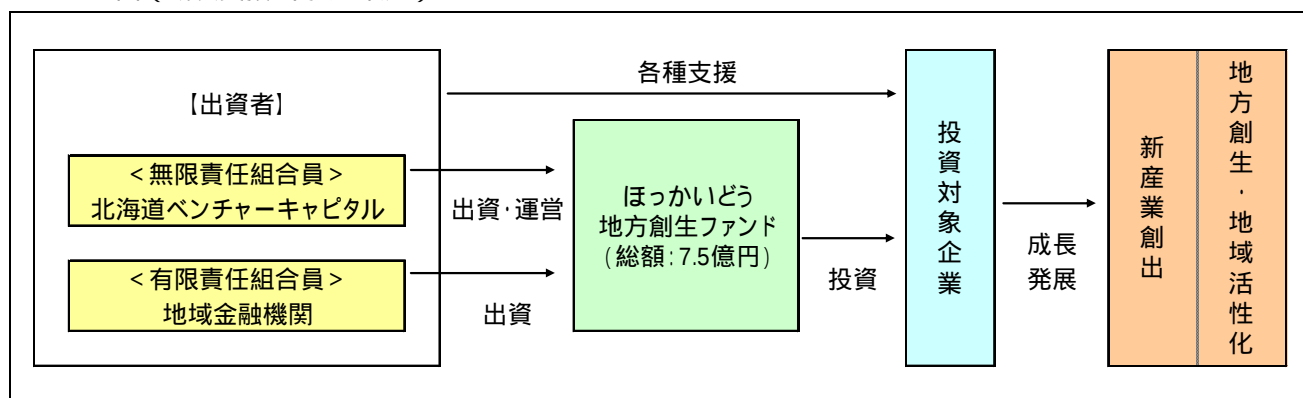
営業企画部 商品戦略室	佐藤(弘)・高橋	TEL: (011) 233 - 1052
経営企画部 広報CSR室	大海・谷	TEL: (011) 233 - 1005

< 別紙 >

【投資事業組合の概要】

ファンド名	ほっかいどう地方創生ファンド (ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合)
出資総額	750 百万円
設立日	平成 27 年 9 月 1 日
存続期間	10 年 4 ヶ月 (2 年間延長可能)
出資者	< 有限責任組合員 > 北海道銀行、札幌信用金庫、空知信用金庫、北門信用金庫、北空知信用金庫 函館信用金庫、江差信用金庫、旭川信用金庫、留萌信用金庫、北星信用金庫 帯広信用金庫、釧路信用金庫、北見信用金庫、網走信用金庫、遠軽信用金庫 北央信用組合、札幌中央信用組合、十勝信用組合 (金融機関コード順) < 無限責任組合員 > 北海道ベンチャーキャタル株式会社
投資事業の対象	地域: 原則、道内に本社、又は主要な拠点を持つ企業。 業種: 成長分野、又は今後成長が期待される分野。 規模: 中小～中堅企業。

【スキーム図 (成長支援に向けた取組)】



ほっかいどう地方創生ファンド

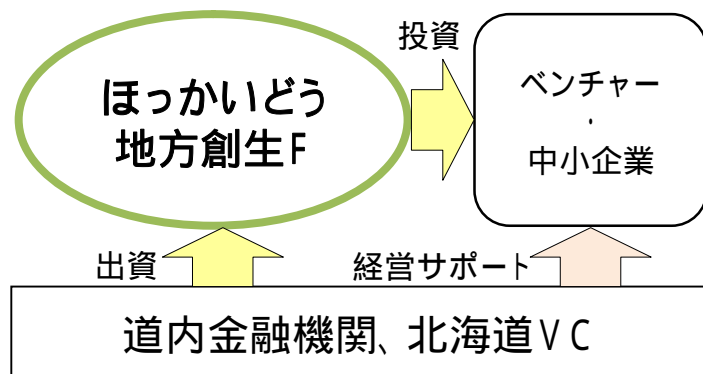
(正式名称：ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合)

株式等の取得による投資により、ベンチャー・中小企業等の成長を支援します。

(出資者)

北海道銀行	札幌信金	空知信金	北門信金	北空知信金	日高信金
函館信金	渡島信金	江差信金	北海信金	旭川信金	留萌信金
北星信金	帯広信金	釧路信金	大地みらい信金	北見信金	網走信金
遠軽信金	北央信組	札幌中央信組	十勝信組	北海道ベンチャーキャピタル	

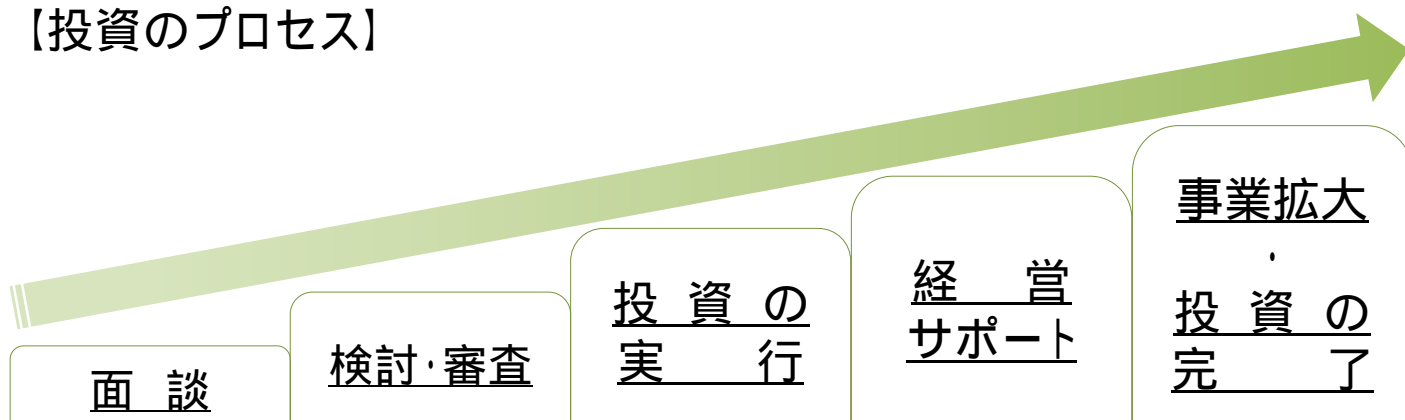
【ファンドの仕組み】



【ファンドの概要】

[設 立 日]	2015年9月1日
[出資総額]	810百万円
[存続期間]	10年間
[対象企業]	・道内に主要な拠点を有する中小企業 ・持続的な成長を目指す企業 ・株式上場企業、地域の中核企業となることが期待される企業
[運営管理]	北海道ベンチャーキャピタル株式会社

【投資のプロセス】



【お問い合わせ】

株式会社北海道銀行 営業推進部

TEL: 011-233-1052

本資料は、ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合の活動を広く皆様にご理解頂くために作成したものであり、ファンドの出資勧誘を行うための資料ではなく、各組合員の業務内容を記載するものでもありません。なお、ほっかいどう地方創生投資事業有限責任組合は、適格機関投資家等特例業務を行うものであり、金融商品取引業の登録を受けておりません。

News Release



平成 27 年 9 月 30 日

各 位

株 式 会 社 北 海 道 銀 行
北海道ベンチャーキャピタル株式会社

受託による糖鎖解析・合成、抗体医薬品の開発を行うベンチャー企業 医化学創薬 株式会社に 5,000 万円を出資 ～「ほっかいどう地方創生ファンド」第 1 号案件～

北海道銀行(頭取 笹原 晶博)と北海道ベンチャーキャピタル(本社:札幌市 代表取締役 三浦 淳一)は、道内 18 信金・3 信組と共同で 9 月 1 日に設立した「ほっかいどう地方創生ファンド」の第 1 号投資案件として 9 月 30 日付で医化学創薬(株)(本社:札幌市 代表取締役 伊藤 勝彦)に 5,000 万円を出資いたしましたのでお知らせします。

医化学創薬(株)は北海道大学発の創薬バイオベンチャーで、これまでその複雑さから解析・合成が難しいとされてきた糖鎖()を、高精度かつ高効率で解析・合成できる独自の技術を有している企業です。

糖鎖は、核酸(DNA)、タンパク質に続く第三の生命線と呼ばれていますが、多様な種類と構造により解析・合成が難しいとされており、現在、次世代医療の重要テーマとして世界的に研究が進められております。

この技術を使うことで一度に多数の検体を迅速かつ低コストで解析できることから、今後、画期的な抗体医薬品の実用化が期待されています。

本ファンドでは、同社の技術面の優位性と今後の成長性を高く評価し、投資を実行することといたしました。

「ほっかいどう地方創生ファンド」は、北海道の地域資源を活用して成長を狙うベンチャーや中小企業等への投資を通じて地方創生・活性化に寄与することを目的としており、道内地域金融機関の広域連携を特徴としたファンドです。

9 月 1 日に 14 信金・3 信組と共同で総額 750 百万円で設立しましたが、9 月中に更に、日高信用金庫、渡島信用金庫、北海信用金庫、大地みらい信用金庫の 4 信金が加入し、現在、総額 810 百万円のファンドとなっております。

北海道銀行及び北海道ベンチャーキャピタルは、引き続き道内地域金融機関と連携し本ファンドを活用した地域活性化に向けて取り組んでまいります。

記

【医化学創薬(株) 企業概要】

本 社 所 在 地 札幌市北区北 21 条西 12 丁目 コラボほっかいどう

代 表 者 代表取締役 伊藤 勝彦

設 立 年 月 日 平成 22 年 11 月

事 業 内 容 受託による糖鎖解析・糖鎖合成、試薬・装置販売、抗体医薬製造

U R L <http://www.soyaku.co.jp/>

以 上

【本件のお問い合わせ先】

北海道銀行 営業企画部 商品戦略室 佐藤(弘)・高橋 TEL (011) 233 - 1052

経営企画部 広報 CSR 室 大海・谷 TEL (011) 233 - 1005

株式会社 北海道ベンチャーキャピタル 三浦 TEL (011) 738 - 7380

平成 28 年 3 月 30 日

各 位

株式会社 北海道銀行
北海道ベンチャーキャピタル株式会社

**入居者無料インターネットサービス・フリーWiFi スポットの構築・運営を行う成長企業
株式会社 ファイバーゲート に 2,640 万円を出資
～ 「ほっかいどう地方創生ファンド」 第 2 号案件 ～**

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）と北海道ベンチャーキャピタル（代表取締役 三浦 淳一）は、道内 18 信金・3 信組と共同で昨年 9 月 1 日に設立した「ほっかいどう地方創生ファンド」の第 2 号投資案件として、3 月 30 日付で㈱ファイバーゲート（本社：札幌市、代表取締役 猪又 将哲）に 2,640 万円を出資しましたのでお知らせいたします。

㈱ファイバーゲートはマンション等向けに入居者が無料で利用出来るインターネットサービスやフリーWiFi スポットの構築・運営・サポートを行っている企業です。自社で通信機器開発・製造から、通信工事、インターネットサービス、コンテンツサービス、保守サービス、コールセンターによる顧客サポートまで全て網羅した対応を行っており、顧客利便性が高く、コストパフォーマンスに優れたサービスを提供しています。特に、高い技術力を活かして、通信機器を用途毎に最適な形で自社開発できる点が強みです。

また、外国人観光客が年々増加する中、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックを控え、商業施設、交通機関、観光地等における無料 WiFi スポットの設置箇所拡大が大きな課題となっています。同社は道内だけでなく全国各地で無料 WiFi スポットの設置事業を展開しており、この課題の解決に大きな寄与が期待される企業です。

本ファンドでは、同社の事業面の優位性と今後の成長性を高く評価し、投資を実行することといたしました。

「ほっかいどう地方創生ファンド」は、北海道の地域資源を活用して成長を狙うベンチャーや中小企業等への投資を通じて地方創生・活性化に寄与することを目的としており、道内地域金融機関の広域連携を特徴としたファンドです。

北海道銀行及び北海道ベンチャーキャピタルは、引き続き道内地域金融機関と連携し本ファンドを活用した地域活性化に向けて取り組んでまいります。

記

【㈱ファイバーゲート 企業概要】

本 社 所 在 地 札幌市中央区南 1 条西 8 丁目 10-3 第 28 桂和ビル

代 表 者 代表取締役 猪又 将哲

設 立 年 月 日 平成 12 年 9 月

事 業 内 容 入居者無料インターネットサービス、フリーWiFi スポットの構築・運営・サポート

U R L <https://www.fibergate.co.jp/>

以 上

【本件のお問い合わせ先】

北海道銀行 営業企画部 商品戦略室 佐藤（弘）・高橋 TEL（011）233 - 1052

経営企画部 広報CSR室 大海・石田 TEL（011）233 - 1005

株式会社 北海道ベンチャーキャピタル 三浦 TEL（011）738 - 7380

銀行名	北海道銀行
タイトル	「道銀創業支援塾」の開講
取組み内容	【背景・経緯】 現在、我が国が人口減少と地域経済の縮小に立ち向かうために掲げている「地方創生」は、当行が営業基盤とする北海道においても最重要課題の一つ。北海道の「地方創生」へ貢献するため、道内において一人でも多くの起業家を輩出することを目指し、新たなビジネスのノウハウとスキルについて体系的に学ぶビジネス・スクールとして平成27年10月に「道銀創業支援塾」を開講。 【取組みの概要】 (1) 目的 北海道における新たな「しごと」づくりをサポートすることにより、地域経済の活性化と雇用の促進を図る (2) 対象者 創業を目指す経営者候補、創業後間もない経営者の方々 (3) 概要 本取組みは、創業に関する数多くの相談実績とノウハウを有する（公財）北海道中小企業総合支援センター（北海道よろず支援拠点）との共催とし、(株)日本政策金融公庫の協力を得ることで、資金調達面等での支援の多様化を図った。 < 第1期 > 2015年10月から3ヶ月間6回コースとし、事業計画、会計・税務など創業に必要なノウハウを学ぶカリキュラムを予定している他、参加者同士のディスカッションを通じてビジネス・アイデアを磨き上げる内容とした。 < 第2期 > 2016年4月に開講し、（公財）北海道中小企業総合支援センター（北海道よろず支援拠点）との共催および(株)日本政策金融公庫の協力に加え、北海道・札幌市・岩見沢市・北広島市・当別町・長沼町・由仁町等の各自治体、TKC北海道会、札幌商工会議所（北海道事業引継ぎ支援センター）、北海道信用保証協会の協力、更に地域の金融機関が一体となった取組みを目指し、北陸銀行、北海信用金庫、北央信用組合、札幌中央信用組合の協力も得た。北海道の創業支援のためのプラットフォーム化を図り、オール北海道での取組みに発展させていく。 以 上

HOKKAIDO BANK

News Release

平成27年8月28日

各位

株式会社北海道銀行

「道銀創業支援塾」の開講について

共催：(公財)北海道中小企業総合支援センター（北海道よろず支援拠点）

協力：(株)日本政策金融公庫、(株)道銀地域総合研究所

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）は、北海道における新たな「しごと」づくりをサポートすることにより、地域経済の活性化と雇用の促進を図ることを目的として、創業を目指す経営者候補と創業後間もない経営者の方々を対象に、「道銀創業支援塾」を開講します。

現在我が国が人口減少と地域経済の縮小に立ち向かうために掲げている「地方創生」は、北海道においても最重要課題の一つといえます。

このような環境下、道内において一人でも多くの起業家を輩出することを目指し、新たなビジネスのノウハウとスキルについて、体系的に学んでいただくビジネス・スクールを開講するものです。

第1期は、本年10月から3ヶ月間6回コースとし、事業計画、会計・税務など創業に必要なノウハウを学ぶカリキュラムを予定している他、参加者同士のディスカッションを通じてビジネス・アイデアを磨き上げる内容としています。

創業に関する数多くの相談実績とノウハウを有する(公財)北海道中小企業総合支援センター（北海道よろず支援拠点）との共催により、受講者層の間口拡大と内容の充実を図ります。また、(株)日本政策金融公庫の協力を得ることで、資金調達面等での支援の多様化を図ります。

併せて、創業に関する個別の相談に応じるため、事前予約制による「道銀創業相談窓口」を当行本店に設置します。

詳細は別紙のとおりです。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行	営業推進部	盛	TEL.011-233-1163
北海道銀行	広報CSR室	大海	TEL.011-233-1005

平成27年10月開講

道銀創業支援塾

共催：(公財)北海道中小企業総合支援センター(北海道よろず支援拠点)

協力：(株)日本政策金融公庫、(株)道銀地域総合研究所

のご案内

対象

創業の構想をお持ちの方
創業後3年以内の方

定員10人

定員になり次第、〆切りとさせていただきます。

受講料

無料

特徴

ビジネスアイデアを有する方々が集まり、
ビジネスの基礎知識を習得し、同じ志を
持った参加メンバーによるグループ
ディスカッションを活用してビジネスを磨
き上げます。

既に創業して活躍されている方をゲスト
に招き、生の声も参考にする予定です。



メニュー

約3ヶ月間6回の短期集中コース

開催時間：参加しやすい平日の夕刻18:30～20:30(2時間)

開催場所：参加しやすい北海道銀行本店ビル(札幌市中央区大通西4丁目1番地)

	テーマ
第1回 H27.10.21(水)	ビジネスアイデアをプレゼンする
第2回 11. 5(木)	事業で勝つ秘訣を考える
第3回 11.18(水)	事業計画 計画の立て方考える
第4回 12. 2(水)	事業計画 計画の実効性考える
第5回 H28. 1.13(水)	会計・税務、資金調達を考える
第6回 1.27(水)	ビジネスアイデアを磨き上げる

継続
フォロ
ウ

個別相談や継続
コースも予
定しています。

お申込は、
9月30日(水)まで

講師(予定)：北海道よろず支援拠点 コーディネーター 中野 貴英、サブコーディネーター 小野寺辰昭・吉田聡
日本政策金融公庫、北海道銀行、現役経営者 など

「よろず支援拠点」とは、経済産業省が平成26年度から実施している中小企業支援制度で、経営相談に対応する窓口が都道府県毎に設置されました。地域を支える中小企業・小規模事業者の業績改善を通じて地域活性化を目指す無料の相談窓口です。

同時
スタート

道銀 創業相談窓口

毎月第3火曜日 13:00～16:00

事前予約制 1時間(無料)

北海道銀行本店ビル(札幌市中央区大通西4丁目1番地)



北海道銀行

【問合せ先・事務局】

北海道銀行 営業推進部(担当：大畑、鈴木、中山)

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

TEL.011-233-1040, FAX.011-231-5009

平成28年3月29日

各位

株式会社北海道銀行

第2期「道銀創業支援塾」(春コース)の開講について

共催：(公財)北海道中小企業総合支援センター(北海道よろず支援拠点)
協力：(株)日本政策金融公庫、(株)道銀地域総合研究所、(株)北陸銀行、北海道、札幌市
岩見沢市、北広島市、当別町、長沼町、由仁町、T K C北海道会、
北海道信用保証協会、札幌商工会議所(北海道事業引継ぎ支援センター)
北海信用金庫、北央信用組合、札幌中央信用組合

北海道銀行(頭取 笹原 晶博)は、北海道における新たな「しごと」づくりをサポートすることにより、地域経済の活性化と雇用の促進を図ることを目的として、創業を目指す経営者候補と創業後間もない経営者の方々を対象に、第2期「道銀創業支援塾」を開講いたします。

第1期は、当行初の取組みとして、昨年10月から3ヶ月間6回コースで開催し、定員10名に対し11名の参加がありました。参加者は、札幌近郊に限らず、道北、空知地区からの参加もあり、6名が既に創業されている方、5名が今後1、2年で創業を予定している方で、IT関連、設備工事、子育て支援、介護事業、商品企画、アウトドア関連など幅広い業種がありました。事業計画、会計・税務など創業に必要なノウハウを学ぶと共に、異なる業種の交流が新たなビジネスを構築する上での刺激になり、参加者からも満足度が高い感想を頂いております。

北海道銀行としては、「地方創生」に積極的に取り組み、その一つとして、道内にいて一人でも多くの起業家を輩出することを目指し、今般、第2期「道銀創業支援塾」(春コース)を開催することにいたしました。

第1期と同様に、創業に関する数多くの実績とノウハウを有する(公財)北海道中小企業総合支援センター(北海道よろず支援拠点)と共催し、(株)日本政策金融公庫の協力を得ることに加え、第2期は、北海道、札幌市をはじめ岩見沢市、北広島市、当別町、長沼町、由仁町の各自治体、T K C北海道会、札幌商工会議所(北海道事業引継ぎ支援センター)、北海道信用保証協会の協力、さらに、地域金融機関一体となった取組みとして、北陸銀行、北海信用金庫、北央信用組合、札幌中央信用組合の協力も得て、北海道の創業支援のためのプラットフォーム化を図り、オール北海道での取組みに発展させてまいります。なお「道銀創業支援塾」は、今後も春コース、秋コースと年2回実施する予定です。

第2期「道銀創業支援塾」(春コース)の詳細は、別紙のとおりです。

以上

【本件に関するお問合せ先】

北海道銀行 営業推進部 鈴木(秀) TEL.011-233-1037
広報CSR室 大海 TEL.011-233-1005

平成28年4月開講（春コース）

第2期生
道銀

創業支援塾

募集のご案内

共催：（公財）北海道中小企業総合支援センター（北海道よろず支援拠点）

協力：（株）日本政策金融公庫、（株）道銀地域総合研究所、（株）北陸銀行、北海道、札幌市

岩見沢市、北広島市、当別町、長沼町、由仁町、TKC北海道会、北海道信用保証協会、

札幌商工会議所（北海道事業引継ぎ支援センター）、北海信用金庫、北央信用組合、札幌中央信用組合

対象

創業の構想をお持ちの方

創業後3年以内の方

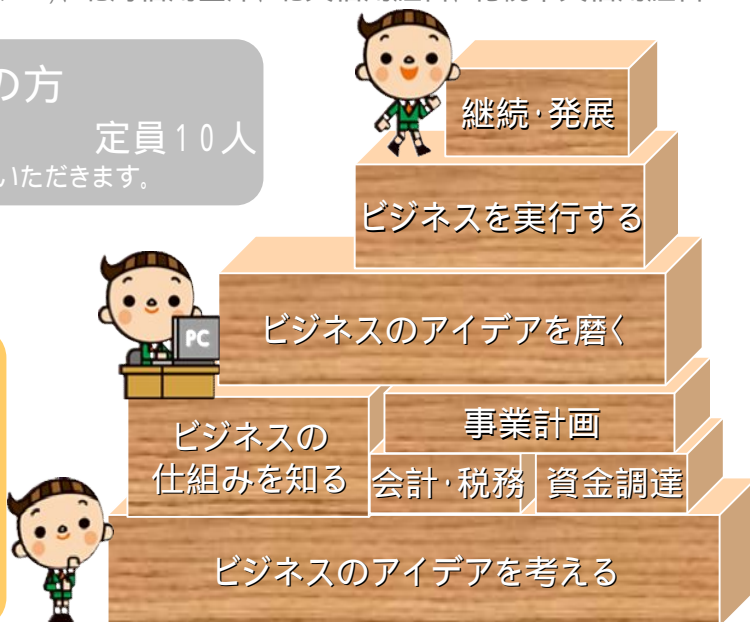
定員10人

定員になり次第、〆切りとさせていただきます。

受講料 無料

特徴

ビジネスアイデアを有する方々が集まり、自身のアイデアを具体化させるための知識・手法を習得し、同じ志を持った参加メンバーの中で磨き上げます。
既に創業して活躍されている方をゲストに招き、生の声も参考にする予定です。



メニュー

約3ヶ月間6回の短期集中コース

開催時間：参加しやすい平日の夕刻18:30～20:30（2時間）

開催場所：参加しやすい北海道銀行本店ビル（札幌市中央区大通西4丁目1番地）

		テーマ
第1回	H28.4. 27（水）	ビジネスアイデアをプレゼンする
第2回	5. 18（水）	事業で勝つ秘訣を考える
第3回	5. 31（火）	事業計画 計画の立て方を考える
第4回	6. 15（水）	事業計画 計画の実効性を考える
第5回	6. 29（水）	会計・税務、資金調達を考える
第6回	7. 13（水）	ビジネスアイデアを磨き上げる

講師（予定）：北海道よろず支援拠点 コーディネーター 中野 貴英、サブコーディネーター 小野寺辰昭・吉田聡
日本政策金融公庫、北海道銀行、現役経営者 など

「よろず支援拠点」とは、経済産業省が平成26年度から実施している中小企業支援制度で、経営相談に対応する窓口が都道府県毎に設置されました。地域を支える中小企業・小規模事業者の業績改善を通じて地域活性化を目指す無料の相談窓口です。

お申込は、
4月15日（金）まで



【問合せ先・事務局】

北海道銀行 営業推進部（担当：大畑、鈴木、中山）

〒060-8676 札幌市中央区大通西4丁目1番地

TEL.011-233-1037, FAX.011-231-5009

銀行名	北海道銀行
タイトル	「どうぎんカーリングクラシック２０１５」の開催
取組み内容	【背景・経緯】 当行は、ＣＳＲ活動の１つとして「カーリング」競技普及に取り組んでいる。 昭和５４年の北海道カーリング協会設立時支援に始まり、平成２２年１１月には国内トップ選手の活動支援を開始、平成２３年４月には女子カーリングチーム「北海道銀行フォルティウス」のメインスポンサーとなり、平成２４年９月には、札幌市が建設した通年型カーリング施設のネーミングライツを取得（「どうぎんカーリングスタジアム」）するなどの取組みを実施。 このような地域におけるカーリング普及支援の一環として、国内外の強豪チームを集め、札幌市で開催されるカーリングの国際大会「どうぎんカーリングクラシック２０１５」を平成２７年７月に初開催した（主管：一般社団法人札幌カーリング協会、特別協賛：北海道銀行）。夏季に国内外の代表クラスが集う国際大会を開催することにより、国内チームのレベルアップに寄与する他、出場選手が先生役を務める一般市民が参加できるカーリング「体験会」「指導会」を実施することなどにより、地域における競技普及、地域活性化を図っている。 本年８月には「どうぎんカーリングクラシック２０１６」を開催した。 今後も国際大会としての定着を目指し開催を続けていく予定。 【取組みの概要】 どうぎんカーリングクラシック２０１５ 平成２７年７月３１日（金）～８月２日（日）の３日間、札幌市のどうぎんカーリングスタジアムにて前年度の日本選手権出場チーム（男女各４チーム）と韓国代表チーム（男女各１チーム）計１０チームが参加し技を競い合った。優勝はTeam K O R E A（男子）、準優勝はＳＣ軽井沢クラブ（男子）、３位は北海道銀行フォルティウス（女子）。 どうぎんカーリングクラシック２０１６ 平成２８年８月４日（木）～７日（日）の４日間、昨年同様どうぎんカーリングスタジアムで開催。 本年は男女別の大会とし、前年参加した韓国の他、中国・カナダ・ドイツチームが出場し、計１６チームが参加する国際大会として規模を拡大。 男子の優勝はSturmay（カナダ）、準優勝はWang（中国）、３位はＳＣ軽井沢クラブ（日本）。女子の優勝はCarey（カナダ）、準優勝はGim（韓国）、３位はKim（韓国）。 また、大会期間中に開催したカーリング体験会には２８人の一般市民が参加し、大会として昨年以上の盛り上がりを見せた。 以 上

[illegible]